

身近な自然

御嶽山は、県立自然公園に指定され、法律により貴重な自然が守られている。雷鳥は、国の天然記念物であり、コマクサなどの人気のある高山植物は、規制ロープを張った立ち入り禁止区域の中にある。そして僕自身もこの規制ロープを張るという仕事をしている。

でも時々、この山の上の自然と下の普段の生活の周囲にある自然と、いったいどこが違うのだろうか、ふと考えている自分がいる…。

日常的な暮らしの中でも沢山の自然を感じることが出来る。どんなにコンクリートで作られた都会にも見上げれば空が広がり、鳥が舞い、道路のアスファ

ルトの片隅には、花や草木たちがひそやかに生きている。そして、安らぎや豊かさを与えてくれる。自然はどこにでもあるものである。

確かに御嶽山は美しい。しかし、もっと身近なところにも同じように、安らぎを与えてくれる場所もある。道端のタンポポだつてとても綺麗な花であり、僕は見ているだけで幸せな気分になることが出来る。大切なのは、どこにいてもそれを感じようとする気持ちである。

近ごろはとかくせわしない世の中である。でも、だからこそ僕達は、もっと身近な自然に心を傾けるべきなのかもしれない。

< 終わり >

(写真・文 市川典司)

五の池
小屋だより